

# 医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

購読の申し込みは  
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)  
(組合員の購読料は組合費に含む)  
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296  
郵便振替00160-6-84866

ホームページ http://www.irouren.or.jp/  
電子メール n-ask@irouren.or.jp

## 日本医労連第65回定期大会

# 戦争法案廃案に向け決意新たに

# 7期連続増勢を達成

# 20万医労連の早期実現を

日本医労連は、7月22日～24日までの3日間、神奈川県横浜市において第65回定期大会を開催しました。7年連続で組織の増勢を達成して迎えた大会は、7全国組合・47都道府県医労連の代議員182人など、全体で338人が参加しました。一年間の運動の総括とともに、「戦争する国づくり」阻止、安全・安心の医療・介護実現、賃金・労働条件改善、組織拡大など活発に討論をし、2015年運動方針を満場一致の賛成で採択しました。

大会は、中丸登代子副執行委員長長の開会あいさつの後、議長団3名を選出し、第65回

### 7期連続増勢を達成

主催者挨拶をした中野千香子中央執行委員長は、「1374名純増の7年連続で大会を迎えました。あと2164名で過去最高です。早期に20万人医労連を実現しましょう」と呼びかけました。

### 戦争法案廃案の大運動を

とのわけ、戦争法案廃案へのとりくみを最重点課題として位置づけ、「戦争法案・憲法改悪阻止、いのちと平和を守る大運動」として、すべての単組支部、病棟ごとなどで職場決議をあげること、医労連として新聞に意見広告を掲載するため、賛同募金運動にとりくむことが提案されました(詳細、下記別掲)。



来賓の全労連の小田川義和議長、医労連を代表して住江憲勇保団連会長、福祉保育労の澤村直書記長、日本共産党の堀内照文衆議院議員から、日本医労連への期待と激励の挨拶を受け、JAL争議団の山口宏弥団長から争議支援の訴えがありました。続いて、日本看護協会、ILO(国際労働機関)、オーストラリア看護師助産師連合会からのメッセージ紹介も行なわれました。

三浦宜子書記長が「2015年度運動方針」を提案し、15年度の運動の基調として、3点に基づいて運動を進めていくとしました。①「戦争する国づくり」阻止、社会保障の拡充で安全・安心の

## 主催者あいさつ 中野千香子中央執行委員長



第65回定期大会にご参加頂いた仲間のみならず、ご多忙なお越し頂いた来賓の方々、ありがとうございます。

全加盟組織の努力で1374名純増の7年連続増勢で大会を迎え、あと2164名で過去最高です。医療・介護・福祉の分野で働く労働者は750万人を超えています。早期に20万人医労連を実現しよう

## 1号議案 「戦争法案反対」意見広告に関する補強提案

安倍政権は、詭弁を弄した国会答弁を繰り返したまま、衆議院で強行採決を行なったが、この暴挙に戦争法案反対の世論と運動がさらに広がり、どの世論調査でも安倍政権の支持率が急落している。いのちをまもる医療・介護・福祉労働者の総意として、「戦争法案」断固反対を社会的にアピールし、今国会で廃案に追い込むため、賛同募金による新聞意見広告に取り組み。組合員に戦争法案の危険性を知らせ、募金を集めることを運動として位置づけ、組織内

## 定期大会スローガン

ふたたび白衣を戦場の血で汚さない! 憲法改悪・戦争する国づくり反対、国民のいのちと暮らしが何よりも大切にされる平和な社会をつくらう!

命させ、労働者・国民にさらなる負担を強いる裏切り行為を進めていることです。まして集团的自衛権の行使は、相手から見れば日本は侵略戦争に加担した「敵国」であり、テロを受ける危険が格段に高まります。

政権が強行した医療保険制度改革関連法は、全ての世代への負担増、「患者申し出として混合診療拡大の道を開いたこと、国民皆保険制度を揺るがす「国保の都道府県単位化」など史上最悪の内容です。

「夜勤改善大幅増員署名」を片手に、社会保障充実とそれが戦争法案にもつながることを訴え抜きましょう。安倍政権退陣のチャンスです。国民要求の実現と合わせ、ともに頑張りましょう。

はもとより、経営者や医療・福祉関係団体にも積極的に賛同を呼びかける。

◎朝日新聞朝刊・2015年9月5日(土) (予定)  
◎賛同募金・組合員1人100円以上。9月末までに集約  
◎組織内は、日本医労連と54加盟組織、8月25日までに加盟組織を通じて申し込みの単組・支部を紙面に掲載。(詳細は、発004号参照)

# 討論 大幅な賃上げ・増員 社会保障の拡充 戦争法案の廃案

# 組織・運動を飛躍させ 団結してたたかおう

大会討論は62名の代議員から、各加盟組織の一年間の取り組みや、運動方針を補強する内容の発言が相次ぎました。また情勢を反映して、多くの代議員から戦争法案の廃案にむけた決意も語られました。発言は、討論テーマにそって紹介します(発言順)。紙面の都合ですべての発言を掲載できないことをご了承ください。

## 看護要求実現 大幅増員 夜勤改善



◆岡山・福田幸恵代議員

岡山は、署名82%の到達率で全国の先頭に立っている。署名は闘いの武器であり、組織強化の道具になると、私自身信念を持っている。看護師確保法制定時の署名で国会を動かした経験は、全国の力が結集した結果であった。3年目、100万突破と方針提起があった。単純に今までの3倍の力が必要。皆さんはその覚悟ができていますでしょうか。私たちは目標をやり切る取り組みをしている。国会では多数を占められないが、署名で世論の多数を占めることが私たちの力。ともに頑張りましょう。



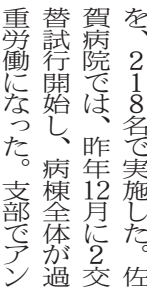
◆大分・美馬恭子代議員

来年の3月で定年を迎える。28歳で看護師になり、9回、10回と夜勤をこなし、育休もとれず3人の子育てをした。働き続けるためには、保育所も制度も必要だが、若い人たちが働き続けられる職場になっていくだろうかと思っている。定年になるにあたって、若い人にどうタスキをつないでいけるか頭が真っ白になっている。大分県医師連では、昨年から青年集会を開いている。楽しければ続けられるのではないかと考えて、家族で参加できるようなプラスαが大切だと取り組んでいる。働き続けた意味を噛みしめて、若い人達を引っ張っていききたいと思っている。



◆佐賀・大橋典子代議員

東佐賀病院、20回目となる



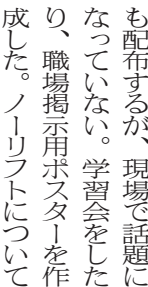
◆東京・横一美代議員

2交替制反対の座り込み行動を、218名で実施した。佐賀病院では、昨年12月に2交替制開始し、病棟全体が過重労働になった。支部でアンケートを実施し、2交替反対が多く、4月から3交替勤務に戻った。東佐賀支部は、2交替制が未だ残っている。全日赤唐津病院では夏季一時金は妥結したが、時間外要求で「医療安全」と「感染」の講習参加に、時間外手当を勝ち取った。組合員8人で団交などしている。応援をお願いしたい。



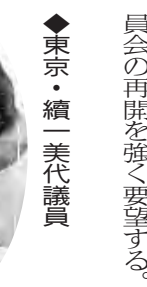
◆京都・勝野由紀恵代議員

看護闘争委員会への参加が悪く、署名への執着も弱いなど低調だった。特定行為では、日本医師連作成一ノフを何度も配布するが、現場で話題になっていない。学習会をしたり、職場掲示用ポスターを作成した。ノリノリについて



◆秋田・末次エリカ代議員

看護対策委員会と名称変更



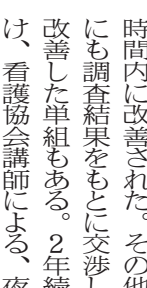
◆東京・横一美代議員

東京都知事は「看護師の養成・定着・再就職を3つの柱に看護職員の確保に取り組み」と発言した。労働局との懇談も続けている。今年はやっと東京都看護協会と懇談できた。他産別への署名要請も、毎月定例の新宿駅でのサタデーピールでは、一日で1000筆を超える署名を集約し、職場でも取り組んだ。しかし署名集約数は、3万484筆と昨年よりも少なく、心残りも多い。3年ぶりに看護闘争委員会合宿を行う。人を集め合宿を成功させ、次の運動をつくっていききたい。



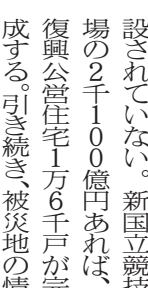
◆秋田・末次エリカ代議員

看護対策委員会と名称変更



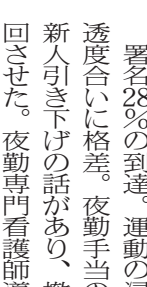
◆北海道・鈴木緑代議員

署名28%の到達。運動の浸透度合いに格差。夜勤手当の新人引き下げの話があり、撤回させた。夜勤専門看護師導入の話もあり、「看護師自身の学習と世論作りが必要」が到達点。夜勤の正循環要求は公休だけでは無理と、合意が6割いかず要求できなかったが、勤務免除日を要求し、正循環は必要との言質は取れた。看護増員、夜勤制限、看護所定行為問題、病床削減問題について、秋の交渉がリアルな現場実態を伝えるチャンス。対道、労働局交渉で声を上げていきたい。看護師の過労自死問題を発端に「新人看護師の育成を考える」シンポジウムを行なう。



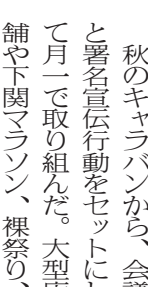
◆山口・出合仁美代議員

秋のキャラバンから、会議と署名宣伝行動をセットにして月一で取り組んだ。大型店舗や下関マラソン、裸祭り、観光地でも署名行動した。署名は、6000にも届かなかった。単組支部取り組みに差があるが徹底・呼びかけに力を入れた。戦争法案廃案の街頭宣伝を行い、安倍晋三事務所に見学書を持ち懇談した。宣伝はティッシュを配り、安倍さんを選出した下関でも、戦争法案反対の賛同の声があがった。組織拡大は微増で、大幅が少なくなってきた。未加盟組織に働きかけを行なっていきたい。



◆神奈川・植木真理子代議員

看護制度問題では方針提案で二年課程通信の経験10年の要件緩和について触れられた。現在日本の就業看護師のうち25%以上が准看護師。神奈川では18%。移行教育などは准看護師養成は早期に停止すべきと、今年度の入学から終わる。仲間の会一で准看護師に状況を知らせたり、学習支援、施設への訪問活動を行ってきた。特定行為の前に、すべての准看護師を看護師に、看護制度の一本化で看護本来の役割を実践できる看護師の増員が必要。秋キャラバンでも県議会申請したい。戦争法案反対の世論も広げたい。



◆長野・川畑和章代議員

夜勤改善・増員闘争の取り組みでは、秋のキャラバンと



◆神奈川・小芝達也代議員

春の看護週間を柱として取り組んだ。自治体への請願・陳情行動では77自治体中73自治体に行い、8割を超える66自治体で採択された。自治体を訪問し、看護師の勤務実態を訴え採択につながっている。春の看護集会は220名が参加。川嶋みどりさんを講師に、戦争を考える学習をした。署名の意義などの学習では、署名リーフも使い説明し、闘争委員による寸劇も行なった。善光寺で宣伝も行ない、新人も奮闘した。職場の取り組みが十分でないが、進むと確信している。長野での10万筆達成に向けて奮闘したい。



◆神奈川・小芝達也代議員

夜勤改善・増員闘争の取り組みでは、秋のキャラバンと



横浜市大では消費税増税で4億の病院負担が生じた。これにより手当改善の未実施や人員抑制が取られた。要請行動も行なったが解決に至っていない。運動方針で補強してほしい。2交替では導入の動きがあるが阻止してきた。今年も表面化している。新採用の困難を理由にしているが、2交替の弊害を説明して反対している。長時間夜勤の法規制が必要。2連続勤務の禁止など補強してほしい。

# 生計費原則にもとづいて 賃金闘争を前進させよう

## 賃金 闘争

◆京都・坂田政春代議員



投票を初めて実施した。ペア獲得も2組合あった。あおぞら労組では定算のみ回答からスト権を背景に5回の団交で2000円のペアを勝ち取った。茨城民医労では看護師初任給20万円以上など要求してペアを勝ち取った。職種限定だったので全職種対象のペアが団結上も不可欠だと実感した。春闘回答を巡っては労使対等の関係構築も課題となっている。

◆徳島・津川博美代議員



4年連続の組合員増で大会を迎えた。15春闘で賃金闘争交流集会を行い、賃金と賃上げをかけたたかう意義を学習した。経営者は赤字経営を理由に、展望も示さず経営難を現場労働者に押し付けてくるが、労組が要求自粛するのは逆効果、「大幅賃上げ要求」を行うことこそ職場・地域医療を守り、職員の生活に責任を持つことと確信した。今春闘の中では、昇給規定のなかったパート職員が、毎年最低10円昇給を勝ち取ったことは最大の成果。賃金表作成もすすめられている。困難に直面したときほど視野を広げ、組合員の知恵と力を借りて奮闘したい。

◆鹿児島・川上真理代議員



毎美では、長時間夜勤の温床になる変形労働時間制導入を阻止している。同時に割増賃金の算定条件の不利益変更の白紙撤回も求めた。30円賃上げも勝ち取った。ペアを出さないと春闘は終わらない気運がある。鹿児島では、民医連労組の年内結成を予定している。未組織職場やパワハラなど課題は山積。来年の大会では、新組合結成と組織拡大の発言をしたい。

◆埼玉・清宮浩代議員



15春闘、ペアへのこだわりが弱かったのは反省点である。春闘アンケート結果の状況が管理側に届いていないと実感した。職場討議を強めていかなければならない。経営分析ができる力量も必要。関西プロックの経営分析学習会に学び予算に訴え、プレッシャーをかけられるかがポイントと考えている。組織拡大では、圧倒的に非常勤職員が増えていることから、パート・

◆神奈川・佐藤長世代議員



15春闘では、生計費に基づく賃金闘争は前進したと感じている。質の面でも前進を確認した。ペア獲得組合は1から2組合に前進した。労働時間規制を抜本的に進めるには、労働組合の構え・方針をさらに深める必要がある。労働組合の基本要素として、8時間労働を求めるとILO条約第1条の批准、36協定の廃止を掲げ、全労連にも強く提起する必要がある。日本医労連が労働時間のスペシャリストとして果たすべき役割は大きい。

◆千葉・永井要代議員



15春闘における相互支援で、嘱託看護助手の常勤化、賃上げ、賃金表開示要求の結果、開示引上げを勝ち取り、当該職員の、「非正規交流集会」への参加にも繋がった。相互支援でペアにこだわらずに勝ち取った。薬剤師の賃金格差が大きく、薬局では月額二千円の手当、交渉外では助産師基本給に一万円を組みこむ成果を勝ち取った。着実に前進を勝ち取る経験を積み重ねている。プレッシャーもあるが頑張っていく。

◆岡山・森本忠春代議員



介護労働者の組織化にも取り組んでいる。戦争法阻止のたたかい方針への要望。医療生協組合理事長より、「医労連は戦争法案に対するストに決起するの？」とあった。戦争法案については多くの分野が、労働組合の動向に注目している。当該職員の、「非正規交流集会」への参加にも繋がった。相互支援でペアにこだわらずに勝ち取った。薬剤師の賃金格差が大きく、薬局では月額二千円の手当、交渉外では助産師基本給に一万円を組みこむ成果を勝ち取った。着実に前進を勝ち取る経験を積み重ねている。プレッシャーもあるが頑張っていく。

◆東京・斎藤康雄代議員



引き出すことができた。ストライキの重要性を実感。今後も日本医労連に結集し、しっかり運動していきたい。

◆全JCHO労組  
金子昌仁代議員



春闘では日比谷の白衣集会に1500名参加し、統一行動には32組合776名参加した。13組合がストライキ、13年ぶりの女子医大の抗議の屋集会には100名が参加し成功。9組合でペア。全職種ペアが7組合。定算のみの組合は生計費原則によりペアを勝ち取る。非正規では時給の引き上げを勝ち取った組合が多かった。組織拡大も進んでいる。年間770名拡大するも実数は微増。未組織、未加盟の組織化に取り組んでいる。年間11回未組織宣伝を行っている。KRR札幌の悲劇を繰り返さないと都内の国共病組で宣伝。闘って拡大もすすめていく。

◆全医労・前園むつみ代議員



4月から非特定化となった。学習会の開催。職場改善と組織拡大を強化し運動を続けている。不払い残業是正、退勤時間調査に取り組んだ。3支部で不払い分を支払わせたい。不払いがあるということ、人が足りないという事は、人が足りないという事は、活動も拡大要求に取り組み。退勤時間調査をして、見える活動をしていきたい。

◆千葉・鈴木郁雄代議員



4年続いた不当労働行為事件勝利にお礼を言いたい。中央労働委員会が機構に謝罪をさせ解決金を出させ和解した。医療の実態、大変さを言葉で伝えるのは難しい。全国から、白衣で参加した事は力になった。国の介入をさせないで一矢をむくいたことができたのではない。片時も気を緩めてはならない。おかしなことをそのままにしない。本場の勝負はこれから、正義は私たちにあります。

◆国共病組・丸山理絵代議員



2012年12月KRR札幌医療センターの新卒看護師が過労自殺した。秋に各支部で退勤時間調査と36協定調査をした。連合会本部を波及し、「誰でも所定労働時間を超えて働いた場合は時間外手当を支給する」との発言を引き出した。職員の健康のために、勤務時間の適正管理を徹底せよと各病院管理者に対して職員部長通知を发出させたのは大きな成果である。

◆全厚労・松尾晃代議員



月8日以内の夜勤協定を結び、月に1回夜勤点検、残業、年休の点検をしている。新人の夜勤開始も、実態は施設で

◆広島・藤本健代議員



全日赤庄原における給食業務の直営と雇用を守るたたかいに闘う署名・協力に感謝。調理職員全てが嘱託パートの職場。全面委託により、全

◆茨城・松崎みどり代議員



15春闘では2組合がスト権



# 7期連続の組織増勢を確信に 20万医労連の早期達成を

◆愛媛・高橋徹代議員



ショートステイでのパワハラの相談を受けた。管理職がパワハラで指示命令を完結。7人中5人が適応障害と診断され休職・退職に至った。中小の介護事業所では労働安全衛生委員会の設置は難しい。ケアマネの7割は介護職、看護師のケアマネが少ない。医療必要度は増している。介護現場は大きな課題に直面している。一般病棟の縮小閉鎖の検討が始まっている。現場がなくなれば、地域医療の崩壊に繋がる。

システムの構築と在宅療養の患者・家族を守りたい。

◆岩手・五十嵐久美子代議員



国のガイドラインに沿って、地域医療ビジョンで4400床の削減と県立病院の「あたらしい経営計画」が発表された。4つの団体が中心になって、いのちをまもる連絡会として住民アンケートや行政懇談を実施し30日記者会見・県と懇談、要請を行なう予定。地域診療センターの復活で地域医療体制の確立にむけて奮闘していきたい。

作りなど提案が必要。

◆福岡・高村美穂代議員



大牟田吉野病院は高次脳機能障害について運動をしている。三池炭坑の大災害を機に設立された旧大牟田労災病院は、労災病院再編計画で委譲され、社会保険大牟田吉野病院として運営されてきた。廃止に際してCO中毒患者を最後まで面倒をみる事が交わされた中核的機能病院とすると約束をした。厚労省との確認書の締結から、9年が経っている今でも不誠実な対応をされている。引き続き支援をお願いしたい。

◆東京・清水浩介代議員



精神医療の現状と今後について発言する。偏見や差別がたふさんある。隔離収容型の医療、攻撃的な印象をマスコミが与えている。精神科特例で診療報酬が少ない。憲法に保障されている人権について、労働組合として日本医労連でも運動を大きく広げることが大切。

◆静岡・鈴木裕二代議員



富士病院の統合問題での支援に感謝したい。署名42114筆を議会に提出した。請願には、富士宮市議会は、望月環境大臣室に対して、市議会議長らが訪問し、意見書を渡すことをした。署名の力が、その動きをつくった。富士病院は、機能を移し廃止する内容のため、地元で対策会議を

◆和歌山・佐藤英昭代議員



キャラバン行動で県知事に5000筆の署名を11月5日に提出。介護事業所など訪問。郵送で介護の労働実態調査も報告。介護職員の処遇改善署名も取り組んだ。介護職員の人材確保に関して、初任者研修受講者を増やす目的で県が研修費用を補助する新加算1

◆北海道・吉田岳彦代議員



介護制度改悪により影響大。道内180の議会を訪問。意見書採択は議会によって温度差有り。介護職員の確保多。看護師確保が必要だということで作った。1990年の湾岸戦争のとき、後方支援に行く志願募集があった。「災害は日赤、戦争は国立」。県医労連として戦争法案反対の抗議声明を発表した。

◆富山・大浦義憲代議員



介護報酬の引き下げにより、どのような影響があるのかを介護機関に調査した。介護報酬の引き下げは断固反対する記者会見を開き、80筆の団体署名を提出した。2005年に特養の労組を作った。看護師確保が必要だということで作った。1990年の湾岸戦争のとき、後方支援に行く志願募集があった。「災害は日赤、戦争は国立」。県医労連として戦争法案反対の抗議声明を発表した。

◆全医労・桶谷努代議員



全国に13のハンセン療養所入所者は1万1千人いたが1718名が減少。平均年齢84歳を超えた。国家公務員ということで人員削減の波にさらされている。昨年の7月に官房長官との面談が実現。大きな成果。通常の障害を持つ高齢者より4倍の医療費が掛かると言われている。3000名を超える職員が働いている。ハンセン病の入院患者がいなくなったら、療養所はなくなると言われている。廃止計画の中、職員の声を守らなければという思いで労組として奮闘していきたい。

◆福島・野地寿子代議員



全国アクトが福島で開催されるため準備を進めている。国は2030年、原発を20%としている。福島原発全基廃炉を求めている。福島原発は、収束していない現状の中で避難解除などを認めることはできない。未だ11万2000人が県外に避難している。49名でくわな福祉会を立ち上げることができた。福祉職場チェックオフをしないことが問題になっている。仲間をふやしていくことが課題。

◆全日赤・五十嵐真理子代議員



庄原日赤の給食委託の問題について署名などの支援を感じ謝する。戦争法案では、日赤は西南戦争時に、つくられた歴史があるが、「白衣を再び戦場の血で汚さない」決意で提起された職場決議などで戦争法案反対に取り組んで行きたい。組織減に歯止めをかけるため「わくわくの日」を取り組み、一斉に終日拡大行動日をもつげる。賃金闘争もがんばりたい。

◆青森・工藤詔隆代議員



青森生存権裁判の闘いは9年となった。10月に棄却の不当判決。最高裁あての要請署名を、最高裁に突きつけた。原告は、80歳を超えた。フランスでは、明確な貧困の基準がある。日本には基準はない。今大会の議案の中で、反貧困が書かれている。最低生活保障の考えが必要。強調してほしい。右に傾く現状で、ナショナルミニマム、しっかりした社会保障をつくる闘いを、労働組合がしっかりまもる闘いをしなければ、平和を守る闘いができない。構えが必要。日本医労連として。青森もいのちをかけて奮闘する決意。

◆山形・渡辺勇仁代議員



戦後70年間守り抜いてきた平和を守るために。閣議決定を撤回せよと、世論を形成するために、宣伝カーを走らせた。グッズを作成し輝け憲法宣伝行動をしている。住民の反応は、回を重ねる毎に高くなり、世論の広がりを感じている。県労連などが、上部団体の枠を超え、集会をおこなった。県医労連も参加した。1000名以上が参加。山形県医労連は、新聞意見広告力ンパも全加盟組で取り組みを強めていく。流し宣伝、署名宣伝行動など続けていく。

◆福島・佐藤和久代議員



福島医療生協労組の大会で戦争法案反対の特別決議を採択し、そのまま駅前前で1000人で宣伝。7月15日緊急集会を開催。抗議FAX用紙を職場単位で国会議員に送ることを国道でアピールした。7月16日憲法共同センターの緊急集会に参加。郡山でも集会を7月18日に行っている。「安倍政権は福島切り捨て」で全国平均より支持率が低い。原発事故後の安倍政権への批判が強い。反対の強い意志を表明。ネットのあかりちゃんピゲの隊長に教えてあげる」の

1年前いち早く勤務環境改善センターが設置された。県の医療政策室と懇談をした。1年間で36件の相談が寄せられている。支援センター実態を労働組合として注視していきたい。地域包括ケアでは、連携し顔の見える関係作りをすすめている。4年前に地域医療を守る住民の会「あしたの会」を発足した。訪問看護ステーションを地域包括シ

◆石川・東幸枝代議員



精神保健医療では虐待の問題などほ氷山の一角。日本の病床数の2割32万床が精神科で、精神科特例により、病床数は多く職員は少ない。診療報酬も低く、大規模でなければ経営が成り立たない。地域移行により入院稼働率が低く90%は赤字運営。病床転換型居住施設の問題、患者の高齢化問題、人権問題など、国が責任を持って地域の受け皿

開催しようとする事になった。医者が足りず、入札も成立しない状況もある。公開質問書も出し、市もだんだん態度が変わってきた。機構、県市、患者団体の懇談会が行われた。

精神医療の現状と今後について発言する。偏見や差別がたふさんある。隔離収容型の医療、攻撃的な印象をマスコミが与えている。精神科特例で診療報酬が少ない。憲法に保障されている人権について、労働組合として日本医労連でも運動を大きく広げることが大切。

介護制度改悪により影響大。道内180の議会を訪問。意見書採択は議会によって温度差有り。介護職員の確保多。看護師確保が必要だということで作った。1990年の湾岸戦争のとき、後方支援に行く志願募集があった。「災害は日赤、戦争は国立」。県医労連として戦争法案反対の抗議声明を発表した。

戦後70年間守り抜いてきた平和を守るために。閣議決定を撤回せよと、世論を形成するために、宣伝カーを走らせた。グッズを作成し輝け憲法宣伝行動をしている。住民の反応は、回を重ねる毎に高くなり、世論の広がりを感じている。県労連などが、上部団体の枠を超え、集会をおこなった。県医労連も参加した。1000名以上が参加。山形県医労連は、新聞意見広告力ンパも全加盟組で取り組みを強めていく。流し宣伝、署名宣伝行動など続けていく。

福島医療生協労組の大会で戦争法案反対の特別決議を採択し、そのまま駅前前で1000人で宣伝。7月15日緊急集会を開催。抗議FAX用紙を職場単位で国会議員に送ることを国道でアピールした。7月16日憲法共同センターの緊急集会に参加。郡山でも集会を7月18日に行っている。「安倍政権は福島切り捨て」で全国平均より支持率が低い。原発事故後の安倍政権への批判が強い。反対の強い意志を表明。ネットのあかりちゃんピゲの隊長に教えてあげる」の

憲法・平和、震災・政治革新

閲覧をおすすめしたい。

◆沖縄・宮里武志代議員



1997年以来17年、辺野古闘争が大きく発展し、オール沖縄という形で姿を現している。知事選・市長選で大きく勝利。米軍基地を巡って長く闘ってきた人達との共闘。県議選挙にむけてオール沖縄として準備している。オール沖縄の生まれた背景は県民の怒り、基地に依存した経済よりも平和的な産業を基盤にした方が未来にのこる。この運動は全国何処でも広げられる。戦争法を許さない闘いそのもの、沖縄だけではなく全国の闘い。政府は汚い手を使って沖縄に襲いかかってくるだろう。闘わなければならない。皆さんの支援に期待している。

◆大阪・代喜伸吾代議員



5月の住民投票で橋下の悪政にNOをつきつけた。負けたら、救命救急の補助金や市立の病院の民間売却など、すめられてしまっている。まだ安心できない。吹田と西、東大阪でも市長選が控えている。戦争法案でも、戦争反対と夜勤反対、特定行為について全てつながっている。戦地での夜勤や特定行為につながる。10月31日に関西ブロックと大阪ナースウエーブ、学習決起集会を計画している。講師は全労連の井上事務局長。その後白衣の大宣伝。医療労働者としての使命を果たす。

◆全医労・佐藤晃一代議員



7月16-17日第69回大会を開催した。雇用を守り、労働条件の切り下げ許さず、組織拡大で奮闘し4年連続の増勢を確認した。大会では4つの重点課題、①富士、八雲の実質廃止計画の中止、撤回、②職場要求闘争の前進、③ストライキ体制の確立、④5年連続増勢を決定した。要求闘争と団交実施を進めたい。各地方協に、組織推進委員を置いていく。組織拡大は楽しいと発言もあった。5年連続増勢を勝ち取る決意。

組織拡大

1つをつくり強化する。第9次、年間1000名の増加をめざす。来年2月、結成55周年を迎える。悪政には、大きな組織となるのが力となる。

◆岐阜・廣瀬政美代議員



組織拡大について、既存の組織拡大も必要だが、8組織だけで拡大するには限界。医療連をいかに、宣伝するかが課題と感じている。夜勤実態調査を県内100病院に送付した。岐阜大学の新歓支援に行った。師長が労働組合に理解があることは、組織拡大に力になる。組合は敵ではないと知ってもらいたい。介護実態調査も送る予定。医療連に専従がいればと思っている。

◆熊本・田中直光代議員



水俣病が公式に確認され60年、全ての公害被害者の救済を訴えたい。未組織の病院前宣伝で、全日赤に3名が個人労働組合に加入した。KKRでも宣伝。個別の労働相談から加入に繋がった。過去に労働相談し金銭解決となった方が、組合に加入となった。クリニック分会が結成となった。友人や家族の労働相談などで、医療連に入りたいたいと加入した。介護集会を7月25日に開催。シンポジウムも行う。2部ではフリーフトについて企画し、定員を超える参加希望。来年はぜひ増勢をめざしたい。

組合員4名から40名に。県医労連の執行委員が若返った。青年が生き生きと活動している。NPTに3名の青年を送り出した。原水禁平和大会にむけて、産別交流集会を準備している。ぜひ広島へ。

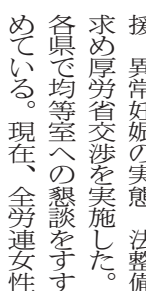
◆京都・加味根とも子代議員



この3月まで京都市立病院の青い鳥保育園で36年間保育士をしていた。160名近い卒園児を送り出した。市立病院の直営から4年前ビジョンに委託。委託変更でアートチャイルドケア社に。病院もアートチャイルドの委託の撤回や団交の申し入れしたが交渉拒否。本意ながら採用試験を受けたが、園長始めほとんどの在職者が不採用に。子どもたちは慣れた保育士が変わり不安を抱えている。子どもが一番の被害者。病院の保育への信頼が薄れ今年も定員割れ。現在6人が裁判で闘っている全国の支援をお願いします。

和会労組3つの争議を闘っている。院主による3つのハラスメント裁判署名は全国から21000筆で大勝利に繋がった。感謝をしたい。もう一つの不当労働行為の申し立てでは、組合の主張を認めさせ、和解書について話し合い中。無一つは執行委員長への裁判を闘っている。暴力団・発達障害との発言など、4回の嫌がらせ。7回目の裁判。守ってくれるのは組合しかない。組合拡大にもつながっている。引き続き支援をお願いします。

◆女性協・村山悦子特別代議員



女性協の作成したハラスメントポスターが反響。現場では日常的にマタハラが横行。昨年11月、母性保護子育て支援、異帯妊娠の実態、法整備求め厚労省交渉を実施した。各県で均等室への懇談をすすめている。現在、全労連女性部の男女平等調査と妊娠出産調査をしている。自由記載には、切実な訴えが書かれている。戦争法案ではいのちを生み、育む女性としてのいのちまもる取り組みを広げたい。

◆大分・志賀美佐江代議員



上人会裁判、給食委託問題では、組合の弱体化を狙った栄養士2名への嫌がらせをうけ、訴状を出して2年、懲戒処分を何度も受け解雇された。仮処分申請。14回目に判決で控訴されたが裁判所から和解を促される。結果現職復帰できなかったが円満退職で全面勝利となった。組合があったから、委託通告からの3年間も耐えられた。支援に力を貸したい。

◆青年協・松田加寿美特別代議員



6全国組合8地方協でプロックアクトを実施。「アクトに参加したい」と組合加入にもつながった。青年協のハラスメント調査で3人に1人がパワハラ経験者。1人ぼっちの青年をなくしたい。全県で青年部確立を目指している。8月に福島で全国アクト。10月に青年学習交流会を京都で、11月に青年代表者会議を愛知で開催予定。

◆滋賀・坂田賢治代議員



昨年末の滋賀県医労への支援に感謝したい。年末一時金0・8ヶ月削減の妥結で看護師の退職が止まらない。専従未配置県の課題では、あと100名の登録増が必要。来年度、専従者を配置する予算を

◆北海道・塚本美香代議員



北海道は7年連続増勢。恵

◆愛知・西野ルミ子代議員



愛知県知事選で小松民子さんへの支援に感謝したい。医療や福祉教育の充実政策への共感を生み、当選には至りませんが、過去最高の得票率となった。愛知は、看護師数43位。知事選挙を通じて増員の要求をすすめた。集团的自衛権行使反対の宣伝行動にとりこんできた。安倍の暴走への闘いは県内にひろがっている。北医療生協では5月28日から毎日、「昼休みデモ」平和グレンジャーの宣伝報道され

◆長崎・溝口一彦代議員



被爆70年、広島・長崎で原水爆禁止世界大会が開催される。産別交流会で被爆体験を予定している。山口、長崎で、戦争法を促進の意見書が議会で採択。被爆地であるのに数の力で暴挙が示された。戦争法の審議の中、佐世保の米軍基地にオスプレイが配置され、軍事パレードなど、市民の反対を無視した行動が行われた。

◆愛知・中井宏美代議員



愛知県医労連は9年連続増勢。豊橋市職労、パート40名が加入。名古屋福祉協会、賃金改善提案に奮起し年間46名の加入で3桁に。組織拡大合宿している。新人1098名加入、過去最高。北医療生協では社会人に入ったら労働組合に入るの当たり前と進めた。名南会労組でも100%加入で、過半数組合の仲間入りをした。個人ユニオンには30名が加入し、9年間で5000名弱となった。6割が退職者の継続加入。介護、退職者、リ

◆高知・金子竜太代議員



個人加盟組合が、ここ数年で倍化し、1000名を超える。労働相談は解決すると連絡取れなくなるのが多く問題と

◆広島・石川奈緒美代議員



広島は5374名の過去最高の増勢となった。広島市民病院労組では1700名。春のオリエンテーションや、組合説明会などで拡大。舟入病院では19名から77名に、安佐市民病院では事務職員の労働条件変更の説明会に参加し、

◆北海道・塚本美香代議員



北海道は7年連続増勢。恵

◆北海道・塚本美香代議員



北海道は7年連続増勢。恵

◆北海道・塚本美香代議員



北海道は7年連続増勢。恵

ふたたび戦場の血で白衣を汚さないために

戦争法案を廃案にしよう

青年・女性の活動

# 総括答弁

## 三浦宣子書記長



### 戦争法案阻止、社会保障拡充

本大会は、「戦争する国」への大転換を許さないつばぜり合いのたたかいの中で開催され、73本の発言(文書発言8本含む)で方針を補強していただいた。安倍政権は、国会を戦後最長の95日間も延長し、衆議院で採決を強行したが、「戦争法案」反対の世論と運動がさらに広がっている。今国会で「戦争法案」を廃案に追い込むため、賛同募金による新聞意見広告の具体化について補強提案を行なった。提案を積極的に受け止めていただき、全百赤・山形・福島など戦争法案阻止の取り組みや決意が語られた。

また、秋闘で「戦争法案」阻止をきっかけにストライキに立ち上がるべきではないかというご意見をいただいた。産別の統一スト権項目に「戦争法案」・憲法改悪阻止を盛り込み、運動方針でも最重要課題に位置づけている。回答指定期間のストライキについては、全労連が9月上旬に「戦争法案」反対の統一行動を提起予定であり、この行動に結集する形で、条件のある組織

「署名の力」を活用した学習の強化や職場の要求と結び付けた意思統一など、創意工夫した取り組みが報告された。長野からは自治体要請を積み重ねてきた成果として66自治体で意見書が採択された教訓が語られ、北海道からは医療・介護の充実が地域の活性化につながるという合意が広がっていると報告があった。国会質問の到達点も踏まえ、世論喚起と職場のたたかいは両輪に、10

0方署名をとりきり、労働時間規制の実現を勝ち取っていく。発言のあったILO第1号条約(8時間労働制)の批准については、他産別とも取り組みを検討していく。36協定特別条項の撤廃は、産別統一重点要求に補強したい。賃金闘争では、生計費原則に基づく要求に対する理解と結果が強まり、神奈川・京都・徳島など、要求の自粛では医療・介護を守れないという確信が広がったとの発言が相次いだ。5回の団交でベアを獲得した茨城や相互支援、産別団交で成果をあげた千葉など、多くの貴重な経験が報告された。医療・介護労働者の賃金・労働条件の改善が安全・安心の医療・介護の実現に不可欠との社会的合意をつくり、産別結果をつよめて前進を図ってほしい。

組織拡大・強化  
組織拡大の課題では、青年から笑顔と行動力で頑張るという力強い決意表明があった。愛知での新人100%加入の取り組み、高知での学習を強化して個人加盟組合を拡大している取り組み、組織を増やしてスト体制の確立に挑戦する全医労など、拡大の教訓や決意が語られた。安から

「署名の力」を活用した学習の強化や職場の要求と結び付けた意思統一など、創意工夫した取り組みが報告された。長野からは自治体要請を積み重ねてきた成果として66自治体で意見書が採択された教訓が語られ、北海道からは医療・介護の充実が地域の活性化につながるという合意が広がっていると報告があった。国会質問の到達点も踏まえ、世論喚起と職場のたたかいは両輪に、10

0方署名をとりきり、労働時間規制の実現を勝ち取っていく。発言のあったILO第1号条約(8時間労働制)の批准については、他産別とも取り組みを検討していく。36協定特別条項の撤廃は、産別統一重点要求に補強したい。賃金闘争では、生計費原則に基づく要求に対する理解と結果が強まり、神奈川・京都・徳島など、要求の自粛では医療・介護を守れないという確信が広がったとの発言が相次いだ。5回の団交でベアを獲得した茨城や相互支援、産別団交で成果をあげた千葉など、多くの貴重な経験が報告された。医療・介護労働者の賃金・労働条件の改善が安全・安心の医療・介護の実現に不可欠との社会的合意をつくり、産別結果をつよめて前進を図ってほしい。

最後に、安倍政権は「戦争法案」など民意を切り捨てる強行を重ねているが、私たちの運動で、安倍政権の攻撃を押し返す展望ができていく。戦争法案を阻止するだけでなく、人間らしく生き働ける社会、いのちが大切にされる社会をつくるために、運動の中で組織を増やし、医療・介護・福祉労働者の先頭に立つて奮闘しよう。

「署名の力」を活用した学習の強化や職場の要求と結び付けた意思統一など、創意工夫した取り組みが報告された。長野からは自治体要請を積み重ねてきた成果として66自治体で意見書が採択された教訓が語られ、北海道からは医療・介護の充実が地域の活性化につながるという合意が広がっていると報告があった。国会質問の到達点も踏まえ、世論喚起と職場のたたかいは両輪に、10

0方署名をとりきり、労働時間規制の実現を勝ち取っていく。発言のあったILO第1号条約(8時間労働制)の批准については、他産別とも取り組みを検討していく。36協定特別条項の撤廃は、産別統一重点要求に補強したい。賃金闘争では、生計費原則に基づく要求に対する理解と結果が強まり、神奈川・京都・徳島など、要求の自粛では医療・介護を守れないという確信が広がったとの発言が相次いだ。5回の団交でベアを獲得した茨城や相互支援、産別団交で成果をあげた千葉など、多くの貴重な経験が報告された。医療・介護労働者の賃金・労働条件の改善が安全・安心の医療・介護の実現に不可欠との社会的合意をつくり、産別結果をつよめて前進を図ってほしい。

最後に、安倍政権は「戦争法案」など民意を切り捨てる強行を重ねているが、私たちの運動で、安倍政権の攻撃を押し返す展望ができていく。戦争法案を阻止するだけでなく、人間らしく生き働ける社会、いのちが大切にされる社会をつくるために、運動の中で組織を増やし、医療・介護・福祉労働者の先頭に立つて奮闘しよう。

### 採択結果

- 第1号議案(2015年度運動方針案) (賛成)満場一致(反対)0(保留)0
- 第2号議案(特別会計設置案) (賛成)満場一致(反対)0(保留)0
- 第3号議案(予算案) (賛成)179(反対)1(保留)0
- ストライキ権投票 満場一致
- 役員選挙 候補者全員が圧倒的多数で信任
- 2015年度選挙管理委員会 拍手で承認
- 共済事業方針・規約改定 (賛成)多数(反対表明)1
- 共済運営委員 拍手で承認

# 医労連共済25周年記念レセプション

## 医労連共済 25周年記念レセプション



上…代表して表彰された4組織  
下…入賞をよろこぶ岩手のなかま

日本医労連は、1990年1月に共済事業をセツト共済230人から出発させ、2015年5月には組合員加入45、894人、家族加入24、356人の合計70、250人となり25周年を迎え、レセプションとして開催しました。レセプションには、来賓14

名(協働、全労連共済会、公共共済会、自治労連共済会、全教共済、東京とけん共済、関東自動車共済協同組合)と定期大会参加者に出席していただき、共済拡大目標の表彰組織101組織を代表して個人共済・火災共済・自動車共済の3部門の拡大目標を達成した熊本県医労連、個人共済拡大第1位の全医労豊橋支部、火災共済拡大第1位の石川民医労、自動車共済拡大第1位の沖繩医療生協労組の4組織に対して中野連営委員長(執行委員長)から表彰を行いました。その後、すべての表彰組織に表彰状と記念品をお渡ししました。

## 長時間労働・不払い労働是正キャンペーン

### 川柳、シール 受賞作品決まる

室川明美さん(広島市民病院労組)の作品がシールに選ばれました

受賞川柳6作品です(敬称略。数字は順位)。たくさんのご応募ありがとうございました。

- 夜勤明け 酒も飲まずに 二日酔い 馬ちゃん先生
- 山口大学教授 馬田哲次さん
- 前残業 中残業して 後残業 S
- 岡山県医労連 平田香奈子さん

- つけ渡る 手当の原資 あんたのかい むろ
- 一人より みんなで請求 時間外 蒼白
- 山形県医労連 村山悦子さん
- 超勤を 書いて新人 ひとりの立ち 瑠璃雅
- 山口県医労連 中村鈴江さん
- 働くルール 守って育てる 人と技 もりもり
- 岡山県医労連 森本忠春さん

# 大会への祝電・メッセージ

※着順に掲載しております

## 政党

次世代の党／社会民主党（2政党）

## 衆議院議員

清水忠史（共産）／高橋千鶴子（共産）／田村貴昭（共産）  
池内さおり（共産）／大平喜信（共産）／堀内照文（共産）  
塩川鉄也（共産）／斎藤和子（共産）／畠山和也（共産）  
もとむら伸子（共産）／島津幸広（共産）／真島省三（共産）  
／宮本徹（共産）／梅村さえこ（共産）／赤嶺政賢（共産）  
畑野君枝（共産）／郡和子（民主）／黄川田徹（民主）  
小川淳也（民主）／仲里利信（無所属）（20議員）

## 参議院議員

田村智子（共産）／辰巳孝太郎（共産）／小池晃（共産）  
紙智子（共産）／倉林明子（共産）／市田忠義（共産）  
吉良よし子（共産）／又市征治（社民）／平野達男（新党改革）  
（9議員）

## 労働組合

全日本建設交運一般労働組合／全日本金属情報機器労働組合（JMIU）／全国自動車交通労働組合総連合会／全国検数労働組合連合会／通信産業労働組合／全国生協労働組合連合会／全労連・全国一般労働組合／全国金融労働組合連合会／全国印刷出版産業労働組合総連合会／日本民間放送労働組合連合会／映画演劇労働組合連合会／日本国家公務員労働組合連合会／日本自治体労働組合総連合会／全日本教職員組合／郵政産業労働者ユニオン／特殊法人等労働組合連絡協議会／全労連公務部会・公務労組連絡会／全税関労働組合／全国税労働組合／全経済産業労働組合／国土交通労働組合／全労働省労働組合／宮城県労働組合総連合会／秋田県労働組合総連合会／福島県労働組合総連合会／千葉県労働組合連合会／神奈川県労働組合総連合会／山梨県労働組合総連合会／長野県労働組合連合会／静岡県労働組合評議会／愛知県労働組合総連合会／京都府労働組合総評議会／奈良県労働組合連合会／島根労働組合総連合会／広島県労働組合総連合会／香川県労働組合総連合会／大分県労働組合連合会／沖縄県労働組合総連合会／全国労働組合総連合会（全労連共済）／国民春闘共闘委員会／全日本損害保険労働組合／全農協労連／全国建設労働組合連合会／航空労組連絡会／全日本海員組合／全日本港湾労働組合／東京土建一般労働組合／全国大学高専教職員組合／国鉄労働組合／日本新聞労働組合連合会／日本乗員組合連絡会議／日本学生支援機構労働組合（52団体）

## 医療関係・民主団体・その他団体

日本看護協会／全国保険医団体連合会／新日本医師協会／全日本民主医療機関連合会／日本医療福祉生活協同組合連合会／一般社団法人 全国腎臓病協議会／一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会／一般社団法人 日本高齢期運動サポートセンター／医療法人坂上健友会・大戸診療所／自由法曹団／全国商工団体連合会／日本国民救援会／国民大運動実行委員会／日本原水爆被害者団体協議会／原水爆禁止日本協議会／農民運動全国連合会／新日本婦人の会中央本部／労働運動総合研究所／日本平和委員会／中央社会保障推進協議会／安保破棄中央実行委員会／労働者教育協会／平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）／全国生活と健康を守る会連合会／日本高齢者運動連絡会／日本高齢者大会中央実行委員会／国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会／日本婦人団体連合会／中央労働金庫／中央労働金庫 荒川支店／あかつき印刷株式会社／一般社団法人 全国労働金庫協会／株式会社 きかんし（33法人・団体）

## 海外

韓国保健医療労組（KHMU）／オーストラリア看護師助産師連合（ANMF）／ベトナム保健労組（VNUHW）／国際看護師協会（ICN）／国際労働機関（ILO）（5団体）

～ ありがとうございます ～

「安倍政権NO!首相官邸包囲」日比谷集会の参加者



7・24中央行動

7月24日、全労連と国民春闘共闘会議、東京春闘共闘会議は、日比谷野外音楽堂で、戦争法案廃案、労働法制改悪阻止、最低賃金引上げ、公務員賃金の改善を掲げて、中央総決起集会を開きました。猛暑の中、1800人が参加しました。その後、厚生労働省前で、最低賃金を全国一律時給1000円以上へ引き上げようとする歴史的暴挙であり、断じて許すことはできない。ひとたび戦争が起きれば、医療関係者が戦場にかかり出されることは避けられない。先の大戦に動員された従軍看護婦は、判明しているだけでも3万人を超え、多大な犠牲者を出した。日本医労連はその痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない」ことを合言葉に、平和と医療をまもる課題を結成以来58年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりこんできた。なぜなら、いのちをまもる医療・介護・福祉労働者の使命と、人のいのちを奪い合い、殺しあう戦争とは相いいれないからであり、憲法9条こそが、日本医労連運動の立脚点だからである。安倍首相は、来年の参議院選挙後、憲法「改正」を行おうとしている。そのために、戦後最長の国会会期延長で何としても戦争法案を成立させようとしている。しかも、国会審議の前にアメリカに「戦争法案」の成立を約束した。これは、国民主権を踏みにじる、絶対に許せない行為である。いま、戦争法案に反対する世論と運動は全国で、あらゆる階層で加速度的に発展し、とりわけ青年、女性、学者、有識者の間で反対の声と運動が広がり、安倍政権と自民・公明与党を追い込んでいる。たたかいはこれからである。世論の大きな高まりで参議院での廃案を必ず実現しよう。日本医労連は、戦後70年をむかえた今、いかなる理由があろうとも戦争・武力行使は許さない、殺し殺される時代への逆行は許さないことを誓うとともに、憲法9条で平和の国際貢献を行うことを求め、患者・国民とともに、戦争法案阻止のために総力を挙げて行動する決意である。以上決議する。

2015年7月24日  
日本医療労働組合連合会第65回定期大会

## 大会宣言

日本医労連は、7月22日から24日の3日間、すべての組織の奮闘により7年連続の増勢で第65回定期大会を新横浜で開催しました。私たちは、平和と民主主義の根幹が問われる緊迫した情勢の中で、医療産別運動を拡大・強化して大会開催を迎えたことに確信を深め、これからの運動をさらに前進させていくことを確認しました。

大会には、7全国組合・47都道府県医労連の代議員182人、傍聴72人、役員など、全体で338人が参加しました。大会参加者は、職場での奮闘が目に見えるような感動的で、方針を本気で実践していく決意を込めた73人の発言を踏まえ、平和と民主主義、生活と権利、医療・介護・福祉・社会保障などを守り発展させることを決意しました。

安倍自公政権は、「殺し殺される」戦争法案を数の力で強行的に押しすすめようとしています。私たちは、「ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない」立場から、戦争法案を絶対に許すことはできません。

この1年間、職場・地域で「戦争法案・憲法改悪阻止、いのちと平和を守る大運動」に取り組み、「戦争する国づくり」阻止、憲法を生かし、社会保障の拡充で安全・安心の医療・介護を実現していくことを確認しました。

「大幅増員・夜勤改善」の課題では、署名の目標達成に向けて、議論と工夫を重ね、「2014秋いのちまもるキャラバン行動」「春のナースウエーブ行動」などで様々な取り組みがおこなわれた豊かな経験を共有しました。

「夜勤改善・大幅増員署名」3年目の最終年となる今期、署名を「たたかいの武器」「組織強化の力」として位置づけ、世論喚起を広げ、100万筆を集約し、国会に提出し、法制化実現などで職場の要求前進を図ることを確認しました。

15春闘は、「生計費原則」に基づく賃金要求への確信と結集が強まり、「ベア要求は当然」という意思統一のもとで取り組まれました。「ストライキを構え、粘り強く団交を重ねてベアを獲得するなど、全体として運動が前進している」という発言もありました。

15秋闘・16春闘では、要求提出から妥結に至るまで産別統一行動に結集し、「大幅賃上げで生活改善、経済の好循環をつくりだす」ことを確認しました。

安倍自公政権は、「人権としての社会保障」を「自立・自助」へと変質させようとしています。私たちは、医療提供体制の縮小、国民皆保険制度の解体・変質、医療の営利化、国民負担の増大などを許さず、職場から地域から、患者や地域の人々とともに、医療・介護・福祉・生活保護・年金など社会保障の充実、国公立病院の拡充と地域医療の発展のために運動を強化することを確認しました。

労働法制改悪、震災復興、原発再稼働反対、基地・オスプレイ問題、TPP、消費税増税などの運動でも全国各地で共同の取り組みが大きく前進しています。

「いのちまもるヒューマンチェーン行動」による新たな取り組みも生まれました。「沖縄に基地はいらない」の「オール沖縄」の力を、「安倍政権NO!」の大きな世論と運動に発展させ、労働者・国民要求を実現させていくことを確認しました。

戦後70年の節目の年に、日本の在り方が大きく問われる情勢の中で大会が開催されました。「たたかひの展望は連帯と団結」です。私たちが情勢を切り拓き、働くなかまの生活と権利を守り、国民要求の実現をすすめていくためにも、20万医労連の早期実現をめざし、医療産別運動を大きく発展させることを決意します。

2015年7月24日  
日本医療労働組合連合会第65回定期大会

## 特別決議

### ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない 戦争法案の成立阻止のために総力を挙げよう

安倍自公政権がすすめる戦争法案は、いつでも、どこでも、どんな戦争にも、あらゆる形で、自衛隊がアメリカの戦争に加担できるようにする憲法違反の悪法である。

日本医労連は、国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求める。

日本は、侵略戦争の誤りを反省し、日本国憲法を創り上げた。特に憲法9条は、戦争を放棄し軍隊を持たないことを世界に宣言して、平和国家として国際的な信用を得てきた。安倍首相の目的は、現在の憲法の理念を否定し、「海外で戦争する国」を実現することにある。そして、戦後70年続いた平和な営みを180度転換させようとする歴史的暴挙であり、断じて許すことはできない。

ひとたび戦争が起きれば、医療関係者が戦場にかかり出されることは避けられない。先の大戦に動員された従軍看護婦は、判明しているだけでも3万人を超え、多大な犠牲者を出した。

日本医労連はその痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない」ことを合言葉に、平和と医療をまもる課題を結成以来58年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりこんできた。なぜなら、いのちをまもる医療・介護・福祉労働者の使命と、人のいのちを奪い合い、殺しあう戦争とは相いいれないからであり、憲法9条こそが、日本医労連運動の立脚点だからである。

安倍首相は、来年の参議院選挙後、憲法「改正」を行おうとしている。そのために、戦後最長の国会会期延長で何としても戦争法案を成立させようとしている。しかも、国会審議の前にアメリカに「戦争法案」の成立を約束した。これは、国民主権を踏みにじる、絶対に許せない行為である。

いま、戦争法案に反対する世論と運動は全国で、あらゆる階層で加速度的に発展し、とりわけ青年、女性、学者、有識者の間で反対の声と運動が広がり、安倍政権と自民・公明与党を追い込んでいる。たたかいはこれからである。世論の大きな高まりで参議院での廃案を必ず実現しよう。

日本医労連は、戦後70年をむかえた今、いかなる理由があろうとも戦争・武力行使は許さない、殺し殺される時代への逆行は許さないことを誓うとともに、憲法9条で平和の国際貢献を行うことを求め、患者・国民とともに、戦争法案阻止のために総力を挙げて行動する決意である。

以上決議する。

2015年7月24日  
日本医療労働組合連合会第65回定期大会

# 日本医労連共済 第27期運営委員

役職名	氏名	選出組織及び役職名
運営委員長	中野 千香子	日本医労連中央執行委員長
副委員長	原 英彦	日本医労連中央副執行委員長
事務局長	吉村 得王彦	日本医労連書記次長
事務局次長	瀧川 聡	日本医労連中央執行委員
運営委員	佐々木 悦子	全医労中央執行委員
	安本 真理子	全厚労書記次長
	河野 昌晃	全日赤書記次長
	金子 昌仁	全JCHO病院労組書記次長
	浅山 麻実	全労災書記次長
	森 誠一	北海道医労連副委員長
	五十嵐 久美子	岩手医労連書記長
	藤田 省吾	埼玉医労連書記長
	新喜 倫生	石川県医労連書記次長
	門 泰之	兵庫県医労連書記長
	藤本 健	広島県医労連書記長
	高橋 徹	愛媛県医労連書記長
	池田 勝久	鹿児島県医労連書記長
	齋藤 康雄	東京医労連書記次長
	丸山 理絵	国共病組書記長
	荒木 友里	新潟県医労連書記次長

## 2015年度

# 日本医労連 中央執行委員

 中央副執行委員長 畑中 剛喜 全厚労	 中央執行委員長 中丸 登代子 全医労	 中央執行委員長 中野 千香子 東京
 中央副執行委員長 鎌倉 幸孝 長野	 中央副執行委員長 奥山 邦彦 山形	 中央副執行委員長 森田 しのぶ 全日赤
 書記長 三浦 宜子 全医労	 中央副執行委員長 松本 隆浩 京都	 中央副執行委員長 原 英彦 愛知

## 大会議長 お疲れ様でした

写真右から  
千葉 陽子さん(関信・山梨)  
立道 彩さん(全日赤)  
日高 琢二さん(九州・福岡)



大会議長団

 中央執行委員 中村 健一 全日赤	 中央執行委員 松尾 晃 全厚労	 書記次長 吉村 得王彦 大阪	 書記次長 森田 進 東京	 書記次長 温井 伸二 北海道
 中央執行委員 高橋 勝行 福島	 中央執行委員 中野 るみ子 岩手	 中央執行委員 油石 博敬 北海道	 中央執行委員 菅原 忠 全労災	 中央執行委員 大島 賢 全JCHO病院労組
 中央執行委員 林 信悟 愛知	 中央執行委員 米沢 哲 東京	 中央執行委員 青山 光 東京	 中央執行委員 内田 博之 山梨	 中央執行委員 永島 達哉 千葉
 中央執行委員 井上 久 書記局	 中央執行委員 田中 直光 熊本	 中央執行委員 瀧川 聡 福岡	 中央執行委員 金子 竜太 高知	 中央執行委員 湖山 隆司 鳥取
 会計監査委員 大嶋 昇 群馬	 会計監査委員 小野寺 誠 全厚労	 会計監査委員 桶谷 努 全医労	 中央執行委員 五十嵐 建一 書記局	 中央執行委員 山口 一秀 書記局

## 第64回定期大会役員のみなさん ご苦労様でした

- ◎議事運営委員会  
桶谷 努 (全医労)  
樫口 浩之 (全厚労)  
小松 征史 (全労災)  
丸山 理絵 (国共病組)  
中井 宏美 (東海北陸・愛知)  
柳生 剛志 (関西・京都)  
森本 忠春 (中国・岡山)  
温井 伸二 (書記次長)
- ◎資格審査委員会  
金子 昌仁 (全JCHO病院労組)  
中村 恭子 (公共労)  
南川 博行 (北海道)  
川村 洋史 (東北・青森)  
岡田 信二 (四国・香川)  
煙崎久美子 (中央執行委員)
- ◎大会宣言起草委員  
瀧川 聡 (中央執行委員)  
池田 勝久 (中央執行委員)  
油石 博敬 (中央執行委員)
- ◎大会書記長  
森田 進 (書記次長)
- ◎大会書記  
山崎 世理 (書記局員)  
通縁 由貴江 (書記局員)
- ◎選挙管理委員 (2015年度)  
瀬谷 哲也 (全医労)  
河野 昌晃 (全日赤)  
菖蒲沢 実 (岩手)  
山本 善和 (山口)

- ◎2015年度選挙管理委員  
瀬谷 哲也 (全医労)  
河野 昌晃 (全日赤)  
鈴木 寿子 (岩手)  
山本 善和 (山口)

- ◎2015年度顧問の委嘱  
岡田 光久  
(敬称略)



会計監査委員 香月 直之 全医労  
中央執行委員 池田 勝久 鹿児島  
中央執行委員 井上 純 徳島  
中央執行委員 煙崎 久美子 広島  
中央執行委員 西尾 美沙子 愛知  
中央副執行委員長 白濱 勉 全厚労

## 退任役員 ご苦労様でした